

平成30年度大阪府立鳳高等学校学校運営協議会（第2回） 記録

日 時 平成30年11月20日（火） 14:00 ～ 15:30
場 所 本校 校長室
出席者 委員：蒲生委員、神代委員、福喜多委員、神田委員、西川委員
学校：校長、教頭、事務長、首席
オブザーバー：甲斐支配人（アリオ鳳）、田伏店長（イトーヨーカ堂鳳店）

1 校長挨拶

2 第1回議事録確認及び第2回内容について

3 授業見学

- ・1年⇒2年⇒3年の順で6限の授業を見学

4 平成30年度学校経営計画に基づく取組状況について

- ・学校の特徴について概括的に説明をするとともに、今年度学校経営計画に挙げている主な取組の進捗状況を説明。

5 意見交換等

（委員：○、事務局：事）

- 現在、SNSを介してとか、限定された人間関係でのコミュニケーションしかできない人が増えてきている。これからコミュニケーション力がますます必要になってくる。
- リーダーシップのある人も求められている。リーダーとしての経験ができる場を作っていくことも必要だ。
- マナーなど、他の人に配慮する力も必要だ。店では教育委員会や警察と連携しているが、学校との連携も必要だと考えている。
- 単位制のメリットは何か。
- 事** 教員数が多く、多様な選択を保證できることが最大のメリット。また、生徒に応じた学校設定科目を数多く設置していることもメリットのひとつ。
- 『「単位制」とは何か』ということや他校ではできない「単位制」のよさをわかりやすく発信していくようにするとよい。
- 最近は大変だが、学生が生き生きとしている。「単位制」に大学を先取りするというイメージを乗せてみてはどうか。また、高校の教員が大学の授業を知ることで、イメージが変わるかもしれない。

- 広報は、コンテンツの質が勝負。高校の場合は特に、「進路指導と学習指導」、「部活動」という2つのコンテンツを充実させることが大切。
- 「第一希望をかなえる」というキャッチフレーズを長年使っているが、「こういう人間を育てたい」という柱・メッセージが必要なのではないか。
- 例えば、学校経営計画にある「前に踏み出す力」をより具体化してみてもどうか。
- 生徒にとって、はじめは進路を決めるための情報が少ないが、ガイダンスにより目標がより具体的になるので、ガイダンスはとても大切。また、探究活動、地域連携、高大連携にもつながる。

6 その他

- ・ 次回の開催について……平成31年2月中旬～下旬